

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成26年 4月22日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立長南小学校 第6学年，全児童
実施児童数 （ 86人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べやや低く特に「読むこと」での課題がある。
平均正答率（本校 65.7／泉佐野市 70.3／大阪府 70.7／全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べ低く、特に「記述式」の設問での正答率が低い。
平均正答率（本校 49.5／泉佐野市 51.9／大阪府 52.6／全国 55.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【読むこと】 ○新聞の投書（複数の情報、長文）を読み、表現の仕方を捉えることに課題がある。</p> <p>4 複数の表現や長文を理解し、表現の仕方として適切なものを選択する。 (59.3/71.7)</p> <p>○物語の登場人物の相互関係を捉える</p> <p>5 長文を読解し、物語の一部に入る適切な人物の名前を書く。 (54.7/65.3)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む」ことに課題がある。</p> <p>1一（3）「漢字を読む（勢いよく走り出す）」 (58.1/74.4)</p> <p>1二（3）「漢字を書く（かぜを予防する）」 (61.6/77.4)</p>	<p>○故事成語の意味と使い方を理解することに課題がある。</p> <p>2一（五十歩百歩） (39.5/55.8)</p> <p>2二（百聞は一見にすかず） (31.4/49.9)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○「目的に応じて、話し合いの観点を整理する」ことに課題がある。</p> <p>1一「司会④の発言の内容をまとめて書く」 (55.8/65.2)</p> <p>1二「質問の意図を捉える」 (51.2/60.2)</p> <p>1三「手書きの立場から質問か意見を書く。複数の条件をクリアし書くことに課題がり、また無回答率も高い」 (18.6/28.3)</p> <p>【書くこと】 ○分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関係づけながらまとめて書く。</p> <p>2二 付箋の内容に関係づけて、まとめる。どれが必要な情報なのかを捉えられていない。自分の考えを表現できない。 (19.8/26.9)</p>	<p>○二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く。</p> <p>3三 詩1と詩2を比べて読んで考えたことを書く。 (36.0/48.1)</p>

3. 学習状況調査より（児童質問紙）

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	39.5	59.2	○	19.7
国語の勉強は大切だと思いますか	96.5	91.8		4.7
国語の授業の内容はよく分かりますか	72.1	80.1	◇	8.0
読書は好きですか	66.3	73.0	◇	6.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	83.7	87.4		3.7
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	44.1	61.4	○	17.3
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	52.3	58.5	◇	6.2
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	65.1	70.7	◇	5.6
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	74.7	75.8		1.4

○「国語の勉強は大切だと思う」児童は全国平均より多い。

○「国語の勉強が好き」と感じている児童の割合が国と比べて低いことは課題である。

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」児童の割合が全国と比べて低いことは課題である。

○「国語の授業の内容がよく分かる」と感じている児童の割合が国と比べて低いことは課題である。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層がやや多く分布している。また、正答数が0～5の児童はいなかった。
平均正答率（本校 75.0／泉佐野市 75.9／大阪府 77.3／全国 78.1）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国に比べるとやや中・低位層に偏りがちである。

平均正答率（本校 50.4／泉佐野市 55.6／大阪府 56.3／全国 58.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○「小数第1位までの減法の計算をすることができる」はよくできている。</p> <p>1（3）「$9 - 0.8$を計算する」（93.0/83.8）</p> <p>○割合が1より大きい場合、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解することに課題がある。</p> <p>2（1）示された図を基に、赤いテープの長さが白いテープの長さ（80cm）の1.2倍に当たるときの赤いテープの長さを求める式を選ぶ（62.8/71.9）</p> <p>○割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解することに課題がある。</p> <p>2（2）示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ（80cm）の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ（46.5/54.1）</p> <p>○分数の相等及び大小についての理解に課題がある</p> <p>3示された分数の中から、$\frac{1}{2}$より大きいものを選ぶ（65.1/72.5）</p>	<p>【数量関係】</p> <p>○「減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる」は概ねできている。</p> <p>1（5）「$100 - 20 \times 4$を計算する」（87.2/80.9）</p> <p>【図形】</p> <p>○円周の長さを、直径の長さを用いて求めることに課題が残る。</p> <p>5（1）直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く。（72.1/83.9）</p> <p>○作図に用いられている図形の約束や性質を理解することに課題が残る。</p> <p>6コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ（43.0/52.0）</p> <p>【量と測定】</p> <p>○体積の単位（1cm^3）と測定についての理解に課題が残る。</p> <p>5（2）1cm^3の立方体を基に、示された直方体の体積を求める。（66.3/81.1）</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○示された場面から計算の結果の見通しをもち、（2位数）×（1位数）の筆算をすることは概ねできている。</p> <p>1（1）示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ（95.3/94.6）</p> <p>○示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述することに課題が残る。</p> <p>1（2）二人の説明を基に、37×24の積が888になることを書く。（47.7/55.2）</p> <p>○10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することに課題が残る</p> <p>3（2）40人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しく表している図を全て選ぶ。（45.3/56.7）</p> <p>【量と測定】</p> <p>○「示された情報を基に、条件に合う時間を求めることができる」は課題がある。</p> <p>3（1）「昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く」（25.6/38.6）</p>	<p>○示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述することに課題がある。</p> <p>3（3）示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く。（16.3/30.6）</p> <p>【図形】</p> <p>○示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰めることに課題が残る。</p> <p>5（1）畳の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をかく。（55.8/65.7）</p> <p>【数量関係】</p> <p>○繰り返されるリズムの規則性（周期）を見だし、それを基に小節数を求めることに課題がある。</p> <p>4（1）アのリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く。（46.5/62.2）</p> <p>○示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題がある。</p> <p>5（3）妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方を書く。（22.1/33.0）</p>

3. 学習状況調査より（児童質問紙）

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	63.9	66.1		2.2
算数の勉強は大切だと思いますか	94.2	92.3		1.9
算数の授業の内容はよく分かりますか	74.4	79.6	◇	5.2
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	74.4	77.3		2.9
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	69.7	78.1	◇	8.4
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	64.0	66.3		2.3
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.9	89.0		4.1
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	80.2	79.4		0.8
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	83.7	81.3		2.4
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	84.9	83.4		1.5

- 「算数の勉強は大切だ」感じている児童は全国平均より多い。
- 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」児童は全国平均より多い。
- 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」児童は全国平均より多い。
- 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」児童は全国平均より多い。
- 「算数の授業の内容がよく分かる」と感じている児童の割合が全国と比べて低いことは課題である。
- 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」児童の割合が全国と比べて低いことは課題である。
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」児童の割合が全国と比べて低いことは課題である。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校 回答率 / 全国 回答率 >
【家庭生活の様子】	○友だちに伝えたいことをうまく伝えることについて、全国を下回っている。	○友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか。 <u><60.5/74.8></u>
	○読書の週間について、全国を下回っている。	○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。 <u><2.4/18.7></u>
【家庭学習の様子】	○家庭学習に関して、自主的な勉強（予習や復習）について、全国を下回っている。	○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。 <60.5/74.8>
		○家で、学校の授業の予習をしていますか。 <37.2/43.2>
		○家で、学校の授業の復習をしていますか。 <47.6/54.0>
【学校での学習の様子】	○先生が子どもの良いところを認めていることの、子ども自身の実感について、全国を上回っている。	○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 <u><90.7/79.7></u>
	○「総合的な学習の時間」での授業の学習が生活や社会に出たときに役に立つと思うことについて、全国を上回っている。	○「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか。 <u><95.3/85.0></u>
	○「総合的な学習の時間」では課題解決・発表などの学習活動に取り組んでいることについて、全国を下回っている。	○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 <u><41.9/63.8></u>

本校の取組み

◎これまでの取組み

【学習面】

(1) 少人数習熟度別指導

算数と国語を中心に、1つの学級を複数の教員で指導し、よりきめ細かな指導、発表や質問がしやすい環境を目指しています。

(2) 長南タイム（朝学習）

1時間目の授業が始まるまでの10分間を活用し、主に読書にとりこんでいます。

(3) サポートタイム（放課後学習）

金曜日の放課後、家庭と連携を取りながら、学習に課題があった子どもたちと学級担任が、課題を克服するためにじっくり時間をかけて頑張っています。

(4) スキルアップルーム

5・6年生の希望者を対象とし、子どもたち自らが進んで自学自習する態度を身につけることができるように実施しています。

【家庭学習面】

(1) 家勉（うちべん）ばっちりチャレンジ週間

家庭と学校が連携し、子どもの基本的な学習習慣の定着を図ることを目的に実施しています。

①毎日、机に向かう習慣をつける。②明日の準備ができるようにする。

【生徒指導面】

(1) いじめアンケート（学期に1回）、生活アンケート（月に1回）の実施

(2) セカンドステップ

◎これからの取組み

【学習面】

(1) 少人数習熟度別指導

継続します。

(2) 長南タイム（朝学習）

継続します。

(3) サポートタイム（放課後学習）

継続します。

(4) スキルアップルーム

継続します。

(5) 英語教育推進事業

新たな取組みとして進めていきます。

【家庭学習面】

(1) 家勉（うちべん）ばっちりチャレンジ週間

継続します。また、中学校との連携も検討していきます。

【生徒指導面】

(1) 服装や挨拶についてのキャンペーン（児童会中心に）の実施

(2) いじめアンケート（学期に1回）、生活アンケート（月に1回）の実施

(3) セカンドステップ 継続します。